

平成26 年度（ 25 年度実施分） 事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成 26 年 10 月 30 日

1 事務事業 の 現状 (DOC)	事務事業名	No. 721203	古瀬間聖苑に係る豊田市への事務委託等事業				主管課名	環境課				
	この事務事業 の位置	政策	市民と行政の協働による自立した自治体経営				課長名	小野田 幸男				
		施策	市民サービスを高める行政運営の推進									
		基本事業	行政サービスの連携									
	(1)事業の概要											
	地方自治法第252条の14に基づき、古瀬間聖苑に係る豊田市への事務委託を行う。 【委託費の算出基礎】 管理及び執行に要する経費+維持管理費に係る人件費-使用料収入+前々年度の利用実績割合						(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) … 数値は(9)					
							名称	単位				
							委託料	千円				
							その指標					
	(25年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)											
起償償還は平成16年度で終了。運営管理費について、平成20年度からは豊田市へ事務委託。												
26年度計画		前年と同様 変更あり		変更内容								
(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)						(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) … 数値は(9)						
市民						名称	単位					
						みよし市の人口	人					
						その指標						
(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)						(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) … 数値は(9)						
古瀬間聖苑が適正に維持管理されている						名称	単位					
						古瀬間聖苑利用件数	件					
						その指標						
(4)結果(上位基本事業の意図)						(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) … 数値は(9)						
圏域内の共通課題の取り組みや効率的な行政サービスを推進し、快適な住環境の整備を図る						名称	単位					
						暮らしやすいと感じる市民の数	%					
						その指標						
(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標	年度	単位	24年度実績値	25年度実績値	26年度計画値	27年度目標値	28年度目標値	29年度目標値				
(5)の活動指標		千円	14,268	14,314	15,000	15,000	15,000	15,000				
(6)の対象指標		人	59,141	59,474	60,200	60,800	61,400	62,000				
(7)の成果指標		件	295	311	320	320	320	320				
(8)の結果の成果指標		%	88.8	88.4	90	90	90	90				
(10)予算費目		会計	01 一般会計				款	04	項	01	目	01
(11)コスト		年度	24年度実績値	25年度実績値	26年度計画値	27年度目標値	28年度目標値	29年度目標値				
事業費(決算又は予算額)		単位	15,195	14,182	14,314	14,314	14,314	14,314				
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0				
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0				
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0				
	その他	千円	0	0	0	0	0	0				
	一般財源	千円	15,195	14,182	14,314	14,314	14,314	14,314				
人件費B		千円	984	968	968	968	968	968				
正職員従事時間×人数		時間×人	87×3	87×3	87×3	87×3	87×3	87×3				
正職員以外の人件費		千円	0	0	0	0	0	0				
その他費用C		千円	0	0	0	0	0	0				
トータルコストA+B+C		千円	16,179	15,150	15,282	15,282	15,282	15,282				
単位あたりコスト		千円/人	0	0	0	0	0	0				
(トータルコスト/(6)の対象指標)		千円/										

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名	No.	721203 古瀬間聖苑に係る豊田市への事務委託等事業			
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？			(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？		
	昭和48年度(事務委託は平成20年度) から					
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？					
市内に火葬施設がないため、豊田三好事務組合に負担金として支払い、古瀬間聖苑の運営をしていたが、平成20年度から組合解散に伴い豊田市への事務委託となった						
(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？						
変化していない			変化し 平成19年度をもって豊田三好事務組合が解散			
変化している			内容 した			

3 評価(SEE)	目的妥当性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？ また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務	→	根拠法令	
		法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する	自治事務	→	根拠法令	みよし市と豊田市との間における火葬事務の委託に関する協定書
					この事務を行う根拠又は理由	火葬する施設が市内にないため
		(2)この事業の意図は結果(基本事業の意図)に結びつきますか？	結びつく		理由	
			結びつかない	→		
		(3)対象を見直すこと(対象の拡大又は縮小)はできませんか？	できる	→	内容	
			できない	→		
		(4)意図を見直すこと(意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み)はできませんか？	できる	→	内容	
			できない	→		
		(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい	→	理由又は内容	
多少影響がある						
	影響はない					
(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ 1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	できる	→	理由又は内容	維持することしかできない		
	できない	→				
(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しますか？	ある	→	類似事業名			
	ない	→				
(8)現在の成果水準のままでは事業費を削減する方法はありませんか？(仕様や工法の変更、住民の協力など)	ある	→	内容			
	ない	→				
(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	ある	→	内容			
	ない	→				
(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	ある	→	内容			
	ない	→				
公平性	ある	→	現状で適正			
	ない	→				
	受益者がいない	→	検討が必要	→		

4 改革改善案(PLAN)	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
		コストの方向性	維持	事業費の方向性	維持	成果の方向性	維持
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど	平成20年度から豊田市への事務委託事業となった。今後も事務委託を継続していく					